

当院における過去 20 年間の高齢者脳内出血の発生頻度および治療成績について

2004 年 4 月から 2024 年 3 月までの間に当院で脳内出血に対して入院治療を受けた、75 歳以上の患者さま

研究協力をお願い

この研究は、2004 年 4 月から 2024 年 3 月の間に当院で脳内出血に対して入院治療を受けた 75 歳以上の方を調査する研究で、高齢者が脳内出血を発症する頻度やその特徴、治療成績を長期間に渡って調べることが目的とした研究です。研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：当院における過去 20 年間の高齢者脳内出血の発生頻度および治療成績

研究期間：2024 年 7 月 5 日～2025 年 12 月 31 日

研究責任者：寺岡記念病院 脳神経外科 土屋貴裕

(2) 研究の意義、目的について

本研究の意義：

脳卒中は日本人の死因の第 4 位、寝たきりとなる原因の第 1 位の病気であり、その予防・治療に関する社会的需要は大きいといえます。脳卒中の 1 つである脳内出血は、特に高齢者では重症化しやすく、様々な合併症のリスクを高めます。国勢調査によると、総人口に対する 75 歳以上の割合は 2000 年には 7.1%だったのが 2020 年には約 2.1 倍の 14.7%と急激に増加しており、日本は世界でも類を見ない超高齢化社会に突入しています。特に 2000 年代に入ってから、高齢者の脳内出血の発生頻度や治療成績について長期間に渡った観察研究はこれまでに行われていません。当院の受診患者の大半を占める広島県福山市は高齢化が急速に進む市区町村の 1 つであり、地域中核病院である当院で治療を行った脳内出血患者は、周辺地域の脳内出血の発生状況を直接反映していると考えられます。そこで、当院における過去 20 年間の高齢者脳内出血の発生頻度および治療成績を調べることで、周辺地域だけでなく日本の高齢者脳内出血治療の現状を明らかにすることを目的としています。

目的：

- 1) 高齢化社会の進行による周辺地域での高齢者脳内出血の発生状況やその特徴を解明すること

2) 高齢者脳内出血の予後予測因子の同定し、患者さまの治療に還元すること

(3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

2004年4月から2024年3月までの間に当院で脳内出血に対して入院治療を受けた、発症時に75歳以上の方を対象とします。くも膜下出血や外傷による脳出血は本研究の対象とはなりません。患者情報を電子カルテより集積し、カルテ記載や画像データから以下の情報を収集します。基本属性 (BMI、年齢、性別、既往歴、生活習慣など)、発症時のCT検査における血腫の位置や大きさ、入院時の採血データ (白血球数、ナトリウム、クレアチニンなど)、治療方法 (手術、保存的治療など)、治療後の経過、治療後の日常生活動作、入院中や退院後の全身合併症 (心不全、肺炎など)、など。また、広島県福山市の年齢別人口推移や当院受診患者の年齢分布の推移などのデータを収集・比較することにより、高齢者脳内出血の疫学的な特徴を明らかにします。

(4) 個人情報保護について

研究にあたり、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

寺岡記念病院 脳神経外科 土屋貴裕
〒729-3103 広島県福山市新市町大字新市 37 番地
電話番号：0847-52-3140 (代表)